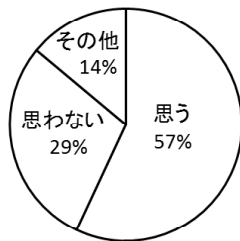


戦争法案に反対する意見書等を可決

6月18日、向日市議会6月定例会の最終日、私も共同提案者・賛同者となって関わった、国政に関わる3つの重要な意見書が可決されました。

安全保障関連法案（戦争法案）に対しては、国会の憲法審査会に招致された憲法学者全員が「憲法違反である」と明言し、大多数の憲法学者や各分野の学者など、5千人を超える研究者が続々と廃案を求める声明を発表しています。憲法違反の法案を制定することに対しては、世論の大多数も反対であり、市民の代表である議会として、国会で強行せず廃案にするよう、国に対して意見書を出しました。

安全保障関連法案は憲法に違反していると思うか？



※意見書その他すべての議案は、向日市議会のHPに掲載。
※私の本会議での質問、討論は全文を「杉谷さんとともにまちを創る会」HPに掲載

- 『沖縄辺野古への米軍基地建設の断念を求める意見書』
- 『安全保障関連法案の撤回を求める意見書』（裏面参照）
- 『労働者派遣法・労働基準法「改正」法案の撤回を求める意見書』

補正予算を可決

- ★子どもの医療費助成を拡充
- ★市内巡回バスと中学校給食の検討へ

子どもの医療費助成が、9月より中学校卒業まで拡充されます

市内巡回バス（コミュニティバス）と中学校給食は、ようやく実施することを前提に検討作業が始まることになりました。市民・当事者が願う内容で一刻も早く具体化し、実施するよう求めます。

風通しの良い 市民にやさしいまちに

杉谷 伸夫

無所属
市民派



がらみさん

上植野町堂ノ前イトーピア在住。大阪生まれ。60才。京都大学工学部卒。GSユアサ（旧日本電池）勤務を経て向日市議会議員1期、市民クラブ所属

声

『杉谷ひろば』6月号に対し頂いた皆様を紹介します。

- 平素はご苦労様です。こまめな活動は必ず市民の反響を呼び、向日市を元気ある市、魅力ある市として発展させると期待しています。
- 中学校給食は実現して下さい。パン1個のみで済ます子どもたちもいます。
- 品位ある向日市づくりを切望します。阪急東向日駅周辺の毒々しい看板。まちの価値を下げています。イオン跡地の新生まで待たずに着手を。
- 向日市には大きな病院がないのが不安。小規模でも急性期を見守ってくれる病院があると安心です。
- 物集女（北ノ口）から市役所や警察、図書館等に行くバスを通して下さい。とても困っています。



※その他多数のご意見を頂き、ありがとうございました。

戦争法案絶対反対

安野 洋子

6月13日午後、高槻市で辻元清美の国会緊急報告会があった。テレビの国会中継で彼女の力強い発言を聞いていたので、さらに詳しく話を聞きたかったし激励もしたかった。

「安全保障関連法案」は、どうみても戦争法案である。日本が攻められていないのに武力行使が出来るようにするのは、どう考えても憲法9条違反だと思う。どうして他の国まで進出して戦争に協力したのか。平和憲法の下、戦後70年間戦争にかかわることなく生きてきたのに。

憲法9条は「焼かれ、殺され、奪われた」犠牲の上に手に入れた何より大切な平和主義である。多くの憲法学者が反対しても押し切るつもりなのか。

反対の声は大きく6月14日、国会は2万5千人の人々に包囲され、また6月24日にはもっと大きな行動がある。国会を延長してでも認めさせたい政府の動きに対し、絶対にこの法案を撤回させたいと強く思う。

『杉谷ひろば』議員活動報告を毎月発行 4年間実行しました 市政と議会の課題を皆様に届け続けました

この4年間、市民の視点で市政と議会の改革に取り組んできました。このまちの主人公は市民です。まちの大切な情報を市民は知る権利があります。私は、この『杉谷ひろば』を毎月発行し、また個人ニュースを駅前配布し、議会やまちの動きと私の考えを市民の皆様にお伝えしてきました。

多くの方々からご意見を頂き、取り組んできました。ご高齢者等のためのバス交通の確保、危険な歩道・生活道路の改善、子育て支援、子育て環境の整備、災害に備えるまちづ

くりは急務です。また財政難を理由に社会保障を切り捨ててはなりません。皆が安心して受けられる介護サービスの保障は、地域の重要な課題です。

今、戦争するための法律作りや原発再稼働など、安倍政権は国民多数の意向に反して危険な道を暴走しています。国が誤った道を進もうとする時、待った！をかけるのは地方の役割です。市民の福祉を最優先に、国政の暴走を止める役割を、しっかり果たしてゆきたいと思います。（6月24日・杉谷伸夫）



杉谷ひろば

7月号
No. 53

杉谷さんとともにまちを創る会
向日市寺戸町辰巳4-1-101
<http://sugi.pupu.jp/> 2015年7月1日発行